

平成26年度曾於市一般会計補正予算（第8号）

平成26年度曾於市一般会計補正予算第8号を提案しますが、今回の補正予算は、それぞれの事業の確定及び執行見込みによる精算的なものによる増減が主なもので、歳入については、平成25年度国の補正予算で交付された、がんばる地域交付金の追加や事業費の確定等による県支出金や市債等の減、財源調整による財政調整基金繰入金の減、収入見込みによる使用料や交付額の確定による普通交付税の追加が主なものです。

歳出については、対象者等の増による障害者福祉サービス費や保育所運営費、放課後児童クラブ事業費等の追加、県営中山間地域総合整備事業負担金等の県営事業負担金の追加など事業費の確定及び執行見込みによる各事業費の増減が主なものです。また、後年度の公債費負担を減らすため市債元金の繰上償還金を追加しています。

歳 入

第6款 地方消費税交付金 95,500千円の減額

税率が5%から8%に改正されましたが、交付見込みにより、95,500千円減額しています。

第7款 ゴルフ場利用税交付金 100千円の減額（皆減）

課税対象となるゴルフ場の閉鎖により、交付額が0円となりました。

第9款 国有提供施設等所在市町村助成交付金 168千円の追加
交付額の確定による追加です。

第10款 地方特例交付金 1,423千円の追加
交付額の確定による追加です。

第11款 地方交付税 381,187千円の追加
交付額の確定による普通交付税の追加です。

第13款 分担金及び負担金 9,540千円の減額

県営特殊農地保全整備事業分担金等の県営事業分担金や養護老人ホーム負担金等の減、保育所運営費負担金の追加が主なものです。

第14款 使用料及び手数料 7,037千円の追加

収入見込みによる過年度市営住宅使用料の追加が主なものです。

第15款 国庫支出金 52,621千円の減額

保育所運営費負担金や学校施設環境改善交付金、がんばる地域交付金等の追加と生活保護費負担金や臨時福祉給付金給付事業国庫補助金、社会資本整備総合交付金等の減額が主なものです。

第16款 県支出金 175,543千円の減額

保育所運営費負担金や障害者自立支援事業費補助金等の追加と事業費の確定または執行見込みによる活動火山周辺地域防災営農対策事業補助金や鶏肉・鶏卵生産効率化事業費補助金等の減額が主なものです。

第17款 財産収入 30,386千円の追加

土地の貸付料や売払収入の追加と基金利息の確定による各基金利子の増減が主なものです。

第18款 寄附金 119千円の追加

育英奨学資金基金寄附金と図書購入基金寄附金の追加です。

第19款 繰入金 556,198千円の減額

財源調整による財政調整基金からの繰入金の減額です。

第21款 諸収入 37,387千円の減額

資源リサイクル畜産環境整備事業負担金や自主文化事業収入等の減額、公営住宅火災機構補助金の追加が主なものです。

第22款 市債 79,400千円の減額

事業費及び補助額等の確定による減額や中山間地域総合整備事業等の県営事業負担金の追加が主なものです。

歳 出

第1款 議会費 3,334千円の減額

執行見込みによる減額です。

第2款 総務費 60,871千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額が主なものですが、思いやりタクシ一等の運行費の不足により、交通対策費を1,799千円追加しています。

第3款 民生費 99,059千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額と実績見込みに伴う障害福祉サービス費や保育所運営費等の追加が主なものです。

第4款 衛生費 80,552千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額が主なものです。

第5款 労働費 4,493千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額が主なものです。

第6款 農林水産業費 319,840千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額が主なものですが、中山間地域総合整備事業等の県営事業負担金を追加しています。

第7款 商工費 28,939千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額が主なものです。

第8款 土木費 70,275千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額が主なものです。

第9款 消防費 12,184千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額が主なものです。

第10款 教育費 99,841千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額が主なものです。

第11款 災害復旧費 24,531千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額です。

第12款 公債費 217,950千円の追加

平成25年度借入の返済額確定による利子の減と公債費の後年度負担を軽減するため元金の繰上償還を追加しています。

以上で、概要の説明を終わりますが、歳入歳出585,969千円を減額し、予算総額は、歳入歳出それぞれ21,608,275千円となります。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

平成26年度曾於市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

平成26年度曾於市国民健康保険特別会計補正予算第3号を提案しますが、今回の補正予算は、保険給付費等の執行見込みによるもので、歳入については、国庫支出金を239,201千円、県支出金を22,277千円、共同事業交付金を33,243千円、繰入金を27,641千円それぞれ減額し、国民健康保険税を30,663千円、療養給付費等交付金を63,488千円、決算に伴う繰越金を224,371千円追加するものが主なものです。

歳出については、交付決定により、共同事業拠出金を8,661千円、前年度精算に伴い諸支出金の償還金を85,611千円追加し、執行見込みにより保険給付費を77,669千円、保健事業費を8,162千円減額するものが主なものです。

歳 入

第1款 国民健康保険税 30,663千円の追加

収入見込みにより、国民健康保険税を30,663千円追加しています。

第2款 使用料及び手数料 446千円の追加

収入見込により、督促手数料を446千円追加しています。

第3款 国庫支出金 239,201千円の減額

国庫負担金は、収入見込みにより、療養給付費等負担金を71,904千円、高額医療費共同事業負担金を708千円、特定健康診査等負担金を95千円それぞれ減額しています。

国庫補助金は、財政調整交付金を166,494千円減額しています。

第4款 療養給付費等交付金 63,488千円の追加

交付決定により、療養給付費等交付金を63,488千円追加しています。

第5款 前期高齢者交付金 602千円の減額

交付決定により、前期高齢者交付金を602千円減額しています。

第6款 県支出金 22,277千円の減額

県負担金は、収入見込みにより、高額医療費共同事業負担金を708千円、特定健康診査等負担金を95千円減額しています。県補助金は、県財政調整交付金を21,474千円減額しています。

第7款 共同事業交付金 33,243千円の減額

交付決定により、高額医療費共同事業交付金を20,687千円、保険財政共同安定化事業交付金を12,556千円減額しています。

第9款 繰入金 27,641千円の減額

他会計繰入金は、一般会計からの保険基盤安定繰入金を6,358千円追加し、事務費繰入金を281千円、人件費繰入金を333千円、交付決定による財政安定化支援事業繰入金を3,385千円減額しています。

基金繰入金は、財源調整により国民健康保険給付支払準備基金繰入金を30,000千円減額しています。

第10款 繰越金 224,371千円の追加

決算による前年度繰越金を224,371千円追加しています。

第11款 諸収入 11,736千円の追加

延滞金・加算金及び過料は、収入見込みにより、保険税の延滞金を5,603千円追加しています。

雑入は、一般被保険者第三者納付金を5,641千円追加するものが主なものです。

歳 出

第1款 総務費 614千円の減額

執行見込みにより、運営協議会費を281千円減額するものが主なものです。

第2款 保険給付費 77,669千円の減額

執行見込みにより、一般被保険者療養給付費を38,604千円、退職被保険者等療養費を39,065千円減額しています。

第3款 後期高齢者支援金等 245千円の追加

事業費決定により、後期高齢者支援金を245千円追加しています。

第6款 介護納付金 332千円の減額

事業費決定により、介護納付金を332千円減額しています。

第7款 共同事業拠出金 8,661千円の追加

事業費決定により、高額医療費拠出金を2,832千円減額し、保険財政共同安定化事業拠出金を11,493千円追加しています。

第8款 保健事業費 8,162千円の減額

執行見込みにより、特定健康診査等事業費を3,270千円、疾病予防費を4,078千円、保健衛生普及費を814千円減額しています。

第10款 諸支出金 85,611千円の追加

国への償還金を、85,611千円追加しています。

以上で、概要の説明を終わりますが、歳入歳出7,740千円を追加し、予算総額は、歳入歳出それぞれ6,256,905千円となります。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

平成26年度曾於市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）

平成26年度曾於市後期高齢者医療特別会計補正予算第3号を提案しますが、今回の補正予算は、今後の執行見込みによるもので、歳入については、後期高齢者医療保険料を2,675千円追加し、一般会計からの基盤安定繰入金等を1,505千円減額するものが主なものです。

歳出については、執行見込みにより、後期高齢者医療広域連合納付金を3,272千円追加しています。

歳 入

第1款 後期高齢者医療保険料 2,675千円の追加

収入見込みにより、現年度分特別徴収保険料を20,269千円減額し、現年度分普通徴収保険料を22,586千円追加するものが主なものです。

第3款 繰入金 1,505千円の減額

交付決定により、保険基盤安定繰入金を1,214千円、人件費繰入金を291千円それぞれ減額しています。

第4款 繰越金 1,811千円の追加

決算による前年度繰越金を1,811千円追加しています。

歳 出

第1款 総務費 291千円の減額

執行見込みにより、総務職員給を291千円減額しています。

第2款 後期高齢者医療広域連合納付金 3,272千円の追加

執行見込みによる被保険者保険料の追加と交付決定による保険基盤安定分担金の減額により、後期高齢者医療広域連合納付金を3,272千円追加しています。

以上で概要の説明を終わりますが、歳入歳出2,981千円を追加し、予算総額は、歳入歳出それぞれ536,377千円となります。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

平成26年度曾於市介護保険特別会計補正予算（第4号）

平成26年度曾於市介護保険特別会計補正予算第4号を提案しますが、今回の補正予算は、保険給付費等の執行見込みによるもので、歳入については、保険料を20,651千円、国庫支出金を3,539千円、決算による前年度繰越金を68,339千円追加し、県支出金を4,730千円、繰入金を54,749千円減額するものが主なものです。

歳出については、地域支援事業費を7,716千円減額し、執行見込みにより保険給付費を3,346千円、財源調整により予備費を40,032千円追加するものが主なものです。

歳 入

第1款 保険料 20,651千円の追加

収入見込みにより、第1号被保険者保険料を20,651千円追加しています。

第2款 使用料及び手数料 69千円の追加

収入見込により、督促手数料を69千円追加しています。

第3款 国庫支出金 3,539千円の追加

国庫負担金の介護給付費負担金を5,201千円、国庫補助金の調整交付金を328千円追加し、地域支援事業交付金等を減額しています。

第4款 支払基金交付金 681千円の追加

支払基金から介護給付費交付金を970千円追加し、地域支援事業支援交付金を289千円減額しています。

第5款 県支出金 4,730千円の減額

県負担金の介護給付費負担金を3,447千円、県補助金の地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）を1,158千円減額しているものが主なものです。

第6款 繰入金 54,749千円の減額

一般会計繰入金は、介護給付費繰入金を419千円追加し、地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）を1,158千円、その他一般会計繰入金を3,885千円それぞれ減額し、介護保険基金繰入金は、決算見込により50,000千円減額しています。

第7款 繰越金 68,339千円の追加
決算による前年度繰越金を68,339千円追加しています。

第8款 諸収入 74千円の追加
延滞金を74千円追加しています。

第9款 分担金及び負担金 852千円の減額
地域支援事業負担金を852千円減額しています。

第10款 財産収入 193千円の追加
介護保険基金利子を193千円追加しています。

歳 出

第1款 総務費 3,309千円の減額
執行見込みにより、一般管理費を940千円追加し、職員給や賦課徴収費、計画策定委員会費をそれぞれ減額しています。

第2款 保険給付費 3,346千円の追加
執行見込みにより、居宅介護サービス給付費を64,516千円、居宅介護サービス計画給付費を15,530千円追加し、その他の介護サービス等諸費や介護予防サービス等諸費、高額介護サービス等費、特定入所者介護サービス等費を減額しています。

第3款 地域支援事業費 7,716千円の減額
執行見込みにより、通所型介護予防事業を1,000千円、訪問給食サービス事業を1,800千円減額するものが主なものです。

第4款 基金積立金 193千円の追加
決算見込みによるもので、介護保険基金積立金を193千円追加しています。

第6款 諸支出金 669千円の追加
国や県、支払基金への償還金を669千円追加しています。

第7款 予備費 40,032千円の追加
財源調整により、予備費を40,032千円追加しています。

以上で、概要の説明を終わりますが、歳入歳出33,215千円を追加し、予算総額は、歳入歳出それぞれ5,176,106千円となります。
よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

平成26年度曾於市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）

平成26年度曾於市公共下水道事業特別会計補正予算第4号を提案しますが、今回の補正予算は、事業費の確定によるもので、歳入については、一般会計繰入金と市債を減額し、平成25年度決算に伴う繰越金を追加しています。

歳出は、事業費の確定による下水道建設事業の工事請負費の減額が主なものです。

歳 入

第4款 繰入金 9,047千円の減額
執行見込により、一般会計繰入金を9,047千円減額しています。

第5款 繰越金 6,771千円の追加
決算による前年度繰越金を6,771千円追加しています。

第7款 市債 9,500千円の減額
事業量の減により、公共下水道事業債を減額しています。

歳 出

第1款 公共下水道事業費 11,564千円の減額
執行見込みによる工事請負費の減額が主なものです。

第2款 公債費 212千円の減額
地方債償還利子の減が主なものです。

以上で、概要の説明を終わりますが、歳入歳出11,776千円を減額し、予算総額は、歳入歳出それぞれ202,478千円となります。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

平成26年度曾於市生活排水処理事業特別会計補正予算（第2号）

平成26年度曾於市生活排水処理事業特別会計補正予算第2号を提案しますが、今回の補正予算は、事業費の確定によるもので、歳入については、18人槽及び50人槽の設置による工事分担金の追加、見込みによる浄化槽使用料の減、国庫補助金の追加や市債の減、前年度繰越金の追加が主なものです。

歳出については、事業費確定による施設整備費の減額が主なものです。

歳 入

第1款 分担金及び負担金 1,411千円の追加

18人槽及び50人槽の設置による浄化槽設置工事分担金の追加が主なものです。

第2款 使用料及び手数料 2,838千円の減額

浄化槽使用料の減額が主なものです。

第3款 国庫支出金 2,366千円の追加

事業費確定により、浄化槽市町村整備推進事業費国庫補助金を2,366千円追加しています。

第4款 県支出金 138千円の減額

事業費確定により、浄化槽市町村整備推進事業費県補助金を138千円減額しています。

第5款 財産収入 6千円の減額

生活排水処理事業基金利子の減額です。

第6款 繰入金 376千円の減額

事務費に係る一般会計繰入金の減額です。

第7款 繰越金 1,669千円の追加

決算による前年度繰越金を1,669千円追加しています。

第9款 市債 10,000千円の減額

事業費に係る下水道事業債の減額です。

歳 出

第1款 総務費 1,056千円の減額

生活排水処理事業基金積立金の追加や施設管理費の減額が主なものです。

第2款 生活排水処理事業費 6,529千円の減額

事業費確定による施設整備費の減額であり、浄化槽設置工事費の減が主なものです。

第3款 公債費 327千円の減額

地方債償還金利子の減額です。

以上で、概要の説明を終わりますが、歳入歳出7,912千円を減額し、予算総額は、歳入歳出それぞれ105,531千円となります。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

平成26年度曾於市笠木簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）

平成26年度曾於市笠木簡易水道事業特別会計補正予算第3号を提案しますが、今回の補正予算は、事業費の確定によるもので、歳入については、簡易水道事業債を追加し、分担金や一般会計からの繰入金を減額したものが主なものです。

歳出については、事業費確定による簡易水道建設費の減額が主なものです。

歳 入

第1款 分担金及び負担金 4,100千円の減額

給水開始件数の確定による工事に伴う給水区内受益者地元分担金と加入者負担金の減額です。

第2款 使用料及び手数料 53千円の減額

給水開始件数の確定による設計審査等手数料の減額です。

第3款 繰入金 10,049千円の減額

事業費の確定や市債の増による一般会計繰入金の減額です。

第5款 市債 10,000千円の追加

事業費の確定による簡易水道事業債の追加です。

歳 出

第1款 簡易水道事業費 4,202千円の減額

事業費確定による施設整備費の減額であり、簡易水道建設費の減が主なものです。

以上で、概要の説明を終わりますが、歳入歳出4,202千円を減額し、予算総額は、歳入歳出それぞれ227,497千円となります。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

平成24年度

曾於市水道事業會計補正予算提案理由書

第4号

鹿児島県曾於市水道事業